

伝えたい
残したい
わがまちの
誇り



ふるさと の情景

VOLUME

16

長野地区
(長野神社の十日戎)



1



4



3



2

十日戎は、1月10日ごろに商売繁盛を祈願して**戎神**(事代主神)に参拝する行事です。起源は古く、平安時代には行われていたとする説もあります。「商売繁盛でササ持って来い」と言われるように、参拝客は縁起物を結んだ「**吉兆**」と呼ばれる笹を持ち帰ります。

長野神社では、毎年1月9日に宵えびす、10日に本えびす、11日にのこり福(のこり戎)が行われています。当日の境内は、市内外からの参拝客でいっぱい。近年では、少し小さめの「子供吉兆」を用意するなど、子どもも楽しめる工夫もされています。親の代からの参加者も多く、次世代を担う子どもの参加もみられる十日戎。商売繁盛のみならず、世代をこえた縁結びとしての側面ももつ行事となっています。



5



1 参拝客に吉兆を手渡す福娘 2 境内で行われる神事の様子 3 参拝客でにぎわう境内 4 氏子も十日戎を迎える準備に参加する 5 子供吉兆

※長野神社へは河内長野駅より徒歩1分。

ふるさとのひと

辻秀和さん

子どものころから、十日戎の手伝いをしている父のところに引っついてよく遊んできました。その中で多くの人との交流を通じて、私も自然と手伝うようになりました。行事を通じて人が集まり、人がつながり、そこに情緒が育まれます。最近では、神社に子どもの絵画を飾り、伝統行事に触れる機会を作るなど、この風情ある行事を子ども世代や孫世代にも伝えていきます。

